



◎道路功績者の表彰

本會道路功績者表彰規程に依り、左の通り二月十一日表彰することに決定し關係地方廳に其の傳達方を依頼する處があつた。

表彰狀、二等功績賞、單杯

宮崎縣道路工夫

坂元 徳 被

同

溫 水 政 則

同

杉 尾 義 光

同

鈴木 治 助

◎幹事井關正雄氏 本會幹事内務技師井關正雄氏は一月十六日

滿洲國に出張を命ぜられた。

◎産業、文化に輝く功績者大原孫三郎氏

倉敷市新川町勳三等大原孫三郎氏は六日以來狭心症で臥床、倉敷中央病院々長松原博士主治醫となつて加療中であつたが十八日午後三時三十分自邸でついに永眠した、享年六十四、氏は倉敷編

織、倉敷紡績社長大原總一郎氏の嚴父で明治十三年七月先代孝四郎翁の次男として生れ閑谷豊及び早稻田專門學校に學び、明治三十九年九月孝四郎翁等の創立した倉敷紡績株式會社の社長となつて我紡績界に頭角を現し、次で大正三年自家の田畑二百餘町歩を提供して財團法人大原農業研究所を創立、同八年には大阪市に大原社會問題研究所を創設同十年には倉敷勞働科學研究所（現東京市にある日本勞働科學研究所を創立し、又大正十五年六月倉敷絹織株式會社を創立して其取締役社長となり、嚴父孝四郎翁の遺志をついで倉敷育英會を起し或は石井十次氏の遺した岡山孤兒院の經營に當る等、生産經濟界の全國的な存在であつたと共に學術振興社會、育英事業方面でも亦大きな功勞者であつた、大正元年には社會事業功勞者として紺綬褒章を（其後紺綬褒章節版を授けられること三回）又昭和五年十一月には勳三等に叙せられ瑞寶章を賜はり、十五年十一月教育勅語換發五十年に際しては學術振興功勞者として文部大臣から表彰されてゐる、氏は昭和十四年五月倉敷絹織、倉敷紡績兩社長を辭して嗣子總一郎氏に譲り、ついで岡山合同貯蓄頭取、中國銀行頭取をも辭任、その他業界の第一線から引退して最近では同市の縣社阿智神社の御造營などに奔走してゐた、氏は美術、工藝に達識し、茶道の趣味も深かつただけにその逝去は各方面から惜まれてゐる。

◎近刊圖書雜誌（寄贈交換）

○早稻田建築學報 (第一八號)

(故佐藤巧一氏追悼特輯號)

○鐵道軌道統制會報 (二月號)

(內務事務官大館貞邦氏鐵道軌道統制會當面の諸問題)

○土木雜誌 (第一八卷一二號)

○土木學會誌 (第二八卷一二號)

(荒井利一郎氏卷き立て無き橢圓形隧道附近に於ける應力の  
状態に就て)

○發送電 (第二卷一二號)

○都市問題 (第三五卷六號第三六卷一號)

○企畫 (第五卷四號)

○汎交通 (二月號)

○觀光 (二月號)

○水道協會雜誌 (第一一六號一月號)

○東大陸 (一月號)

(中野正剛氏天下一人を以て興る)

○清和 (第九卷一二號)

○大大阪 (大東亞戰爭必勝態勢特輯號第一九卷一號)

○土木工業 (第四卷一二號)

(山崎晉輔氏陰道の堅抗降し臺)

○大阪商工會議所月報 (第四二七號)

○斯民 (第三七編一二號)

○都市公論 (第二五卷一二號第二六卷一號)

○全乘聯 (二月號)

○港灣 (第二〇卷一二號)

○私學技術動員 (南方科學紀行、科動技術協力會議特輯第二卷  
一號)

○河川 (第一卷一二號、第二卷一號)

○警察協會雜誌 (二月號)

○自警 (二月號)

○電氣通信學會雜誌 (第二三三號)

○法律時報 (第一五卷一號)

(宇賀田順三氏東京都制案を繞りて)

○道路 (第五卷一號)

(岩澤忠恭氏戰時下の道路の使命、田中豐氏戰爭と橋梁)

○土木試驗所報告 (第六八號)

(島田八郎氏積雪の削抛試試驗並に二、三の雪性特異性に就  
いて附道路用機械的除雪機構雜錄)